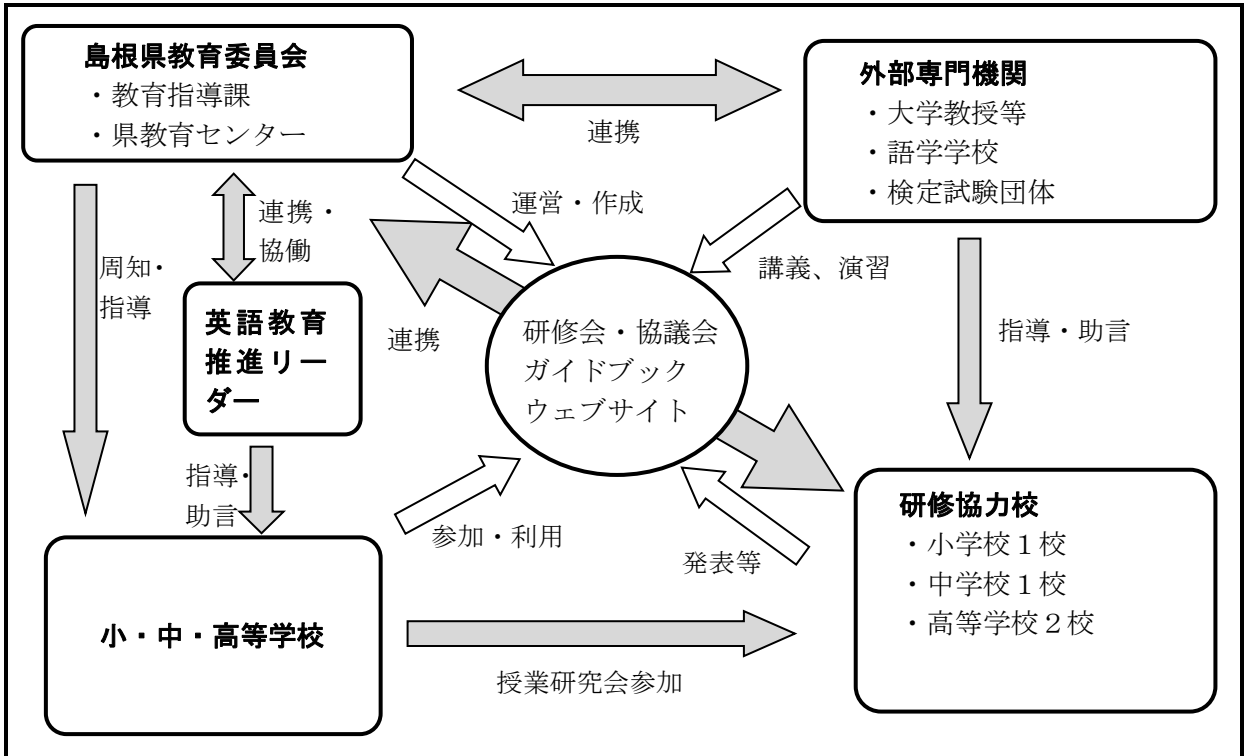


# 島根県英語教育改善プラン

## 実施内容

## (1) 研修体制の概要



## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

(小学校)

- 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況について  
【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり  
【手立て】  
英語教育推進リーダー等による公開授業をはじめとする各種研修や指導主事による学校訪問指導等において「CAN-DO リスト」の作成や活用方法について事例を基に理解を深める。2020年度の目標を公表30%、達成状況の把握30%とする。
- 研修実施回数及び研修受講者数について  
【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり  
【手立て】  
各種研修の趣旨や内容等について、教育センターや各市町村教育委員会とも連携しながら周知を図り、参加を促す。2020年度の目標を研修実施回数25回、研修受講者数を300人とする。
- 小学校の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合  
【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり  
【手立て】  
採用試験の小学校受験者にあたって、下記の要件を満たす者については、選考にあたって考慮することとして、一定の英語力を有する受験者の拡大を図る。
  - ・ 中学校「英語」又は高等学校「英語」の普通免許状を所有していること
  - ・ 英検2級以上、TOEFLiBT42点以上、TOEIC550点以上のいずれかを取得していること

(中学校)

1. 英語担当教師の英語力の状況について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】38.7% (前年度よりプラス3.5ポイント)

【手立て】

求められる英語力を有していない教員に対しては、島根県教育委員会が外部検定試験の団体受験の機会を設定し、受検を促す。2020年度の目標を50%とする。

2. 生徒の英語力について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】34.1% (前年度よりマイナス0.8ポイント)

【手立て】

各学校において、4技能を総合的に伸ばす指導が行われるよう教員研修等の充実を図るとともに、外部検定試験の活用を促す。2020年度の目標を50%とする。

3. 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】設定100% (前年度と同じ)、公表9% (前年度よりプラス1.7ポイント)、達成状況の把握29% (前年度よりマイナス0.1ポイント)

【手立て】

英語教育推進リーダー等による公開授業をはじめとする各種研修や指導主事による学校訪問指導等において「CAN-DO リスト」の活用方法について事例を基に理解を深める。2020年度の目標を公表30%、達成状況の把握40%とする。

4. 授業における、生徒の英語による言語活動の割合について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】半分以上 76.2% (前年度と同じ)

【手立て】

言語活動を通して生徒の英語力が育成されるような授業が展開されるよう、教員研修等の一層の充実を図る。2020年度の目標を80%とする。

5. パフォーマンステストの実施状況について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】スピーキングテスト3.5回 (前年度よりプラス0.1ポイント) ライティングテスト2.6回 (前年度よりマイナス0.1ポイント)

【手立て】

英語教育推進リーダー等による公開授業をはじめとする各種研修や指導主事による学校訪問指導等において、パフォーマンステストの実施方法や効果等について事例を基に理解を深める。2020年度の目標をスピーキング4回、ライティング3回とする。

6. 授業における英語担当教師の英語使用状況について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】半分以上 66.8% (前年度よりプラス0.3ポイント)

【手立て】

英語教育推進リーダー等による公開授業等を通して、授業を英語で行うことによって、実際のコミュニケーションの場面となるよう、授業改善に向けた理解を深める。2020年度の目標を80%とする。

## 7. 研修実施回数及び研修受講者数について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

## 【手立て】

各種研修の趣旨や内容等について、教育センターや各市町村教育委員会とも連携しながら周知を図り、参加を促す。2020年度の目標を研修実施回数20回、研修受講者数を300人とする。

(高等学校)

## 1. 英語担当教師の英語力の状況について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】65.5% (前年度よりプラス9.7ポイント)

## 【手立て】

求められる英語力を有していない教員に対しては、島根県教育委員会が外部検定試験の団体受験の機会を設定し、受験を促す。また、教員採用試験において、CEFR B2以上の外部検定資格を有する者を引き続き選考の際の考慮事項とする。令和2年度の目標を70%とする。

## 2. 生徒の英語力について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】45.1% (前年度よりプラス11.8%)

## 【手立て】

令和3年度入試で導入予定であった外部検定試験に向けて、各学校が先行して外部検定試験の実施を進めてきた結果、資格を有する者が増えるとともに、教師の生徒の英語力を見とる力が高まったためであると考えており、今後も話す力を含めた英語の4技能を総合的に伸ばす指導を進める。令和2年度の目標を50%とする。

## 3. 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】設定100% (前年度と同じ)、公表75.5% (前年度マイナス8.2ポイント)、達成状況の把握55.1% (マイナス20.4ポイント)

## 【手立て】

指導助手による学校訪問指導により、「CAN-DO リスト」の活用方法について状況を聞き取り活用に向けて指導をする。令和2年度の目標はこれまでどおり、すべての学校で設定、公表、把握を行うこととする。

## 4. 授業における、生徒の英語による言語活動の割合について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】半分以上 63.3% (前年度プラス26.7ポイント)

## 【手立て】

研修や学校訪問を通じて、言語活動を中心にした授業について少しずつ理解されてきているものとする。令和2年度の目標を65%とする。

## 5. パフォーマンステストの実施状況

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】

スピーキングテスト コミュⅠ 2.2回 (+1.2)、コミュⅡ 1.7回 (+0.5)、  
コミュⅢ 0.4回 (+0.1)、英表Ⅰ 2.0 (+0.7)、  
英表Ⅱ 1.8回 (+0.9)

ライティングテスト コミュⅠ 2.3回 (+0.3)、コミュⅡ 1.4回 (-0.1)、

コミュⅢ 1. 4回 (+0. 5)、英表Ⅰ 4. 0回 (+2. 2)  
英表Ⅱ 3. 2回 (+0. 6)

【手立て】

実施回数、実施学科とも改善したが、スピーキングテスト、ライティングテストとも実施していない学科が、コミュニケーション英語Ⅰで9学科あるなど、実施されていない学校、学科がまだ存在している。令和2年度の目標を、スピーキング、ライティングとも年間3回とするが、すべての学科、すべての科目でパフォーマンステストが実施されることも目標とする。学校別研修等で有効な実施方法を共有するとともに、指導主事による学校訪問により実施を促す。

6. 授業における英語担当教師の英語使用状況について

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【2019年度達成状況】半分以上 44. 5% (前年度よりプラス17. 7ポイント)

【手立て】

英語教員の資質向上研修等の研修や、外国語指導助手を活用して英語使用の状況を高めていく。令和2年度の目標を55%とする。

7. 英語担当教委に対する研修実施回数及び研修受講者数

【目標及び数値指標】別紙 目標管理書のとおり

【手立て】

各種研修の趣旨や内容等について、教育センターや各市町村教育委員会とも連携しながら周知を図り、参加を促す。2020年度の目標を研修実施回数12回、研修受講者数を200人とする。

(3) 研修の体系と内容の具体

1. 島根県全体での研修

島根県教育委員会では、以下の研修を令和2年度に実施し、英語教員の資質能力の育成を図る。研修の評価については、参加者のアンケートと英語教育実施状況調査の結果によるものとする。その結果は年度ごとに検証し、研修内容や研修の時期等について見直しを行いながら、目標管理書に記載された2022年度までの目標が達成できるよう研修を継続する。

○【研修名】中・高等学校英語科教育講座

【研修対象者】中学校・義務教育学校後期課程・高等学校・特別支援学校の英語科担当教員

【研修目的・内容】新学習指導要領の趣旨について理解を深めるとともに、大学入学共通テストや全国学力・学習状況調査等に見られるテストの理論を習得し、コミュニケーション能力を測るテストへの改善を図る。

【受講予定者数】中学校20名、高等学校20名

【その他】外部機関と連携した講師として東京外国語大学大学院総合国際学研究院 教授 根岸 雅史氏を招聘予定。

○【研修名】英語教員等の指導力向上研修

【研修対象者】小・中・高等学校・義務教育学校・特別支援学校英語担当教員

【研修目的・内容】「話すこと」「読むこと」「書くこと」「聞くこと」に関する言語活動が総合的に展開される授業、スピーキングの指導とフィードバックを効果的に提供する方法等を研修し、生徒のコミュニケーション能力を育成する指導と評価の能力を高める

【受講予定者数】 小学校10名、中学校10名、高等学校10名

【その他】 外部機関から講師を招聘する予定。

○【研修名】 外国語指導助手の授業力向上研修

【研修対象者】 J E Tプログラム参加の外国語指導助手、小・中・高等学校・義務教育学校・特別支援学校英語担当教員

【研修目的・内容】 A L Tの指導力向上、英語担当教員のA L Tと協働した授業設計力向上、および日本人英語教員の英語運用力の向上を目指し、2日間の日程で実施する。

【受講予定者数】 小学校教員10名、中学校教員20名、高等学校・特別支援学校20名

【研修成果普及】 外部機関から講師を招聘予定。

○【研修名】 英語教育推進リーダー等による授業公開

【研修対象者】 小・中・高等学校・義務教育学校・特別支援学校英語担当教員

【研修目的・内容】 英語教育推進リーダー等の授業参観を通して、学習指導要領が目指す英語力を児童生徒に身に付けさせるために必要な指導方法等について実際の授業の場で確認し、各自の授業改善に生かす。また、全国学力調査および島根県学力調査の結果検証の場としても活用する。

【受講予定者数】 各30名

【その他】 指導案やワークシート等は「しまねの教育情報 Web「EIOS（エイオス）」」に掲載し、県内教員の参考とする。

○【研修名】 児童生徒の発信力強化に向けた英語指導力向上のための学校別研修

【研修対象者】 小・中・高等学校・義務教育学校・特別支援学校英語担当教員

【研修目的・内容】 県内各地域の小学校、中学校、高等学校を研修協力校とし、「スピーキング力」「ライティング力」を中心に学習指導要領で目指す指導のための方策を研究授業と研修会により研修する。

【受講予定者数】 小学校40名、中学校40名、高等学校80名

【その他】 各校の設定テーマについて、外部検定またはアンケートによる生徒の変容を検証する。指導案やワークシート等を「しまねの教育情報 Web「EIOS（エイオス）」」に掲載して普及を図る。

2. 一定の英語力を有する小学校の新規採用者の採用に係る計画

○教員採用試験の小学校受験者にあたって、下記の要件を満たす者については、選考にあたって考慮することとして、一定の英語力を有する受験者の拡大を図る。

- ・ 中学校「英語」又は高等学校「英語」の普通免許状を所有していること
- ・ 英検2級以上、TOEFLiBT42点以上、TOEIC550点以上のいずれかを取得していること

○採用試験における新規採用者に占める英語免許所有者の結果を踏まえ、試験における英語に関する免許及び資格有する者の条件についての見直し検討を行う。

○教員募集説明会及び大学生に向けた説明会において英語に関する考慮事項の周知を図る。

